

授業科目(ナンバリング)	茶道文化ⅢA(AB301)			担当教員	安部直樹 嶋内麻佐子 ※柳井駿平		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
雪吹点前・不時点前の修得を通して、もてなしについて考える力を培い、社会生活に必要な礼儀作法やグループの中でのコミュニケーション能力を高めることを目的とする。花生け体験の中で、花の取り合わせや「格付け」について理解する。また煎茶の淹れ方を修得し、日常生活で活かせるもてなしを学ぶ。							⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	雪吹点前の特徴や茶花の真・行・草の生け方の特徴を理解し、説明することができる。				ペーパーワーク	5%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	グループ(7~8名)の仲間と実技(準備・片付け含む)に取り組む中で協力できる。				授業態度	30%	
多様性理解力	「雪吹点前」が実践できる。				実技確認	65%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
実技確認の成績は65%とし、「雪吹点前」が課題となる。「雪吹点前」は、雪吹服紗の扱い方(包み方・清め方)が理解されているかなどから評価する。授業態度については30%とし、稽古への積極性を評価する。毎回の授業内容を記録カードに記入し確認する。ペーパーワークは5%とし、第3回目と第7回目に実施する。ペーパーワークについては、採点を行い学生に返却する。実技確認の結果については学生と個別に振り返りの時間を設けてフィードバックを行う。							
授業の概要							
7~8名のグループに分かれて、グループワークを通して雪吹点前を完成させることを目標とする。基本となる点前から茶会に応じた各種の点前(雪吹点前、不時点前)や所作の違いを理解する。また、煎茶の歴史と種類について学び、実際に煎茶を淹れる中でディスカッションを行う。授業内で使う抹茶・菓子、その他の消耗品など、1,400円の諸経費が必要である。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。							
教科書・参考書							
教科書：嶋内 麻佐子著『茶道文化基礎編』九州文化学園茶道文化研究所(2011年) 参考書：長崎国際大学人間社会学部国際観光学科編『観光の地平』学文社(2011年) 指定図書：安部直樹・嶋内麻佐子・正山征洋・山本源太・米田該典著『茶花・菓草・菓木手帖』玄海町(2010年)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・茶室での貴重品の取り扱いには自己管理とする。茶道具を必ず持参する。アクセサリは身につけない。靴下を着用する。遅刻・欠席をしない。 ・次回の授業までに前回の点前の内容を練習しておくこと。 ・点前の修得だけでなく、茶の行事や地域で開催される他流の茶会にも積極的に参加することで幅広い茶道の文化を学んでもらいたい。 ・図書館を利用し、煎茶の種類と淹れ方について事前準備を行うこと。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	・濃茶点前復習①	濃茶点前の復習。	講義概要(シラバス)を確認する。 教科書 pp. 81～93 を読み、 予習・復習をする。
2	・濃茶点前復習②	濃茶点前の復習。	教科書 pp. 81～93 を読み、 予習・復習をする。
3	・花生け ・ペーパーワーク	茶花の真・行・草の生け方について理解する。さらに、 花入や花の取り合わせについて学ぶ。	教科書 pp. 39～41 読み、予 習・復習をする。
4	・不時点前見本	不時点前の見本を確認し、概要を理解する。	濃茶点前の流れを整理す る。
5	・不時点前稽古①	不時点前の復習。	茶筌飾り・服紗の扱い(使 い服紗・出し服紗・替え服 紗)を予習・復習する。
6	・不時点前稽古②	不時点前の復習。	茶筌飾り・服紗の扱い(使 い服紗・出し服紗・替え服 紗)を予習・復習する。
7	・雪吹点前見本 ・ペーパーワーク	雪吹点前の見本を確認し、概要を理解する。	服紗の扱い(使い服紗・雪 吹服紗)を復習する。
8	・雪吹点前稽古①	雪吹棗の包み方、さばき方など服紗扱いを修得する。	教科書 pp. 44～47 を読み、 予習・復習をする。
9	・雪吹点前稽古②	雪吹点前の復習。	客点前の予習・復習をす る。
10	・観月茶会概要 ・雪吹点前稽古③	茶道文化ⅢB で実施する観月茶会の概要を説明する。 雪吹点前の復習。	雪吹点前の自主的な稽古 をし、点前の流れを整理す る。
11	・雪吹点前稽古④	雪吹点前がどこまで理解されているか確認する。	雪吹点前の自主的な稽古 をし、点前の正しい型を身 につける。
12	・雪吹点前稽古⑤	雪吹点前の完成を目指す。	雪吹点前の完成を目指し、 自主的な稽古をする。
13	・点前確認 (雪吹点前)	雪吹点前がどこまで理解されているか確認する。	吹雪点前の完成を目指す。
14	・点前確認振り返り ・雪吹点前、不時点前復習	点前確認を振り返り、記録カードを作成する。 雪吹点前、不時点前の復習。	点前確認を振り返り、自己 評価する。
15	・観月茶会について ・煎茶について	茶道文化ⅢB で実施する観月茶会での役割を發表す る。 煎茶の歴史と種類について理解する。煎茶を実際に入れ てみる。	教科書 pp. 15～22 を読み、 予習・復習をする。